



学生のみなさんへ

京都三大学教養教育研究・推進機構

はじめに

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の京都三大学は、平成26年度より、それぞれの教育理念を基本にしながら、3大学が共同することによって飛躍的に充実しうる教養教育を、京都北山地域の特性を生かして実施することにしました。これは、これまで10年来、3大学が連携して教育や研究を充実・強化するために進めてきた検討を踏まえ、京都府と文部科学省の支援を得て実現することになったものです。

共同化する教養(リベラル・アーツ)教育では、カリキュラムを拡充して選択の幅を広げ、学生のみなさんの多様な関心・学修要求に応えるようにしています。学生のみなさんには、様々な角度から総合的に物事を観察し的確に判断できる能力や豊かな人間性を培うよう求めます。さらに、共同化によって専門や将来の志望の異なる学生同士や教員との交流を図ることができる条件を、勉学や学生生活に活かしてください。私たちは、下鴨・北山地域における新しい学生のライフスタイル、大学像が構築されることを期待しています。

I. 目指すもの

我が国の大学における教養教育は、戦後新制大学の発足以来一貫して、専門教育と並ぶ不可欠のものとして位置づけられてきました。しかしその在り方、システムや評価は時代によって変化し、社会からの要請や学生の受け止め方によって、ときには充実が求められ、また一方では形骸化を指摘されることもありました。現在の私たちは、経済のグローバル化による産業の空洞化、経済・社会の不透明・不安定化、少子高齢化、災害の巨大化、将来のエネルギー問題など様々の課題に直面し、ときには閉塞感を抱くこともあります。このような今の時代に、社会からは、眼前の利害や身の周りの空気のみで判断・行動するのでなく、主体的に行動し、多様な人々と連携・協同する豊かな感受性と高い倫理観を身につけることが求められています。私たちがとりくむ教養教育は、学生の皆さんが、高度な専門知識だけではなく学術の幅広い基礎的素養と科学的に思考する力を修得し、それらを基礎にして、文化や立場を異にする様々な人々と対話し議論する力や、書き、表現する力を育むことを目指します。

このような認識を踏まえ、京都三大学の共同化教養教育においては、第一に、時代が求める教養教育の課題を以下の 3点に整理し、各授業科目に反映させます。

A. 人文・社会・自然諸分野の学術の基礎を幅広く修得するとともに、これらへの高い関心を育てること。

現代社会を生きていく市民として、諸科学の基礎的知識を幅広く修得することが求められる。大学受験に偏重した 教育等の影響による修得知識の偏りを改善することも望まれる。しかし、限られた時間で修得できる知識は多くない。諸学問それぞれがもつ特有の視点に接することによって、関心・好奇心を醸成する。

B. 世界の人々の多様な生き方を感受し、豊かな人間性と高い倫理観を涵養すること。

世界の多様な地域における人々の生活、歴史の様々な時代における人々の思想や経験など、社会における人の生き方、感じ方に触れ、それらを自己に投影することによって自らの生き方を思考し省察しながら、豊かな人間性と高い倫理観を培う。歴史、社会、文化、芸術等を通して、人としての価値を考察し形成する。

C. 日々社会に生起する種々の問題において、真理や正義を探求する議論に習熟すること。

日々生起する諸問題の多くは、必ずしも解が単一ではない。立場、経験、志向などの異なる多様な者が解を求めて、何が必要であり何をすべきかを議論し解決に向かう試みを通して、読み書き等のリテラシーに必要なスキルを研鑽しながら、クリティカルシンキングやディスカッションを遂行する力を養うとともに、人とかかわるコミュニケーション力の向上を図る。

第二として、このような基本的な目的に加えて、京都三大学としての特徴を活かした教育を実現します。

- 1. 共同化科目の各教室では、将来の専門分野が異なる京都三大学の学生が混在して受講することによって、学修歴や 志向の違いを越えた多面的な視点による学修や討論を実現します。
- 2. 伝統文化、芸術、街づくり、市民生活、地場産業など、京都に歴史的に生きている諸財産やその現代における展開を学修の素材とすることで、京都という地の特色を活かした教育を行います。それとともに、伝統文化をはじめ京都で歴史的に生きる諸財産を守り現代に生かすとともに、未来に拓く教育を実現します。

Ⅱ. 実施の方針

京都三大学の共同化教養教育を運営していく組織として「京都三大学教養教育研究・推進機構」が設置されています。本機構のもとで、3大学それぞれから共同化に相応しい授業科目が提供され、また機構独自で工夫された特色ある科目が提供されます。これらの科目はすべて3大学の正規の授業科目として学生の自主的な選択に供されます。

提供される授業科目は、それぞれ上記の目的に沿って、A. 幅広い基礎的知識の修得、B. 多様な人間世界の事象に触れ人々の生き方を感受し思考する、C. 真理と正義に係る多面的な議論や論考に習熟する、の3つの性格があり、各授業が主としてどの性格をもつものかを示して、学生のみなさんの履修に供されます。みなさんには人文・社会・自然の3分野と共に、これらの性格で分けられた科目をバランスよく履修することが望まれます。そこではまた、これまでの学修歴による修得知識の偏りや狭さを改善することも期待されます。

教養教育のカリキュラム、授業のテーマ、内容や方法は固定的なものではなく、学修状況や授業の成果、みなさんからの要望等によって、常に改善・開発を図っていくものです。このため「機構」には「リベラルアーツセンター」と「教育IRセンター」の二つのセンターを設置し、カリキュラム等の改善・開発や学修の質評価等に係る調査・検討に取り組みます。これらの検討は、専ら教員の側のみで行うものではなく、みなさんの積極的な参加・協力が望まれます。学生のみなさんと教職員の協働によって、新しい豊かな学修フィールドの形成を図っていきます。

3大学学長から学生のみなさんへ

21世紀の知識基盤社会が求める人材

京都工芸繊維大学 学長 古山 正雄

このたび、長年の検討調整過程を経て平成26年度から、京都にある文系・理工学系・医学系の異なる個性の3大学が連携して教養教育の授業を開始することになりました。この国立大学と公立大学が協働してカリキュラムの多様性と柔軟性を広げる試みは全国的にも初めてのもので、我が国はもとより世界に貢献しうる、まさに21世紀の知識基盤社会が求める人材を育成できるものと確信しています。

現代社会は、大量消費社会がもたらした資源の枯渇、地球的規模の環境悪化、経済社会のグローバル化と不均等発展など深刻な諸問題に直面しています。一方、日本国内においても急速に進む少子高齢化、格差の拡大などを背景として、私たちは様々な社会問題を抱えています。

このような状況下において大学は、すべての学生に自らが専攻する専門分野とは別に人文・社会・自然にわたる幅広く普遍的な知を学習させ、倫理観や歴史観、国際的な視野を持たせる責務があります。

このことから本学では、人間形成に必要な教養を涵養し、科学技術と人間性との調和・融合を図ることができる広い視野と 感性を備えた高度専門技術者を育成するための教育を実施してきました。今後も地域コミュニティの中核的存在として、様々 な課題を解決することができる人材を輩出することが求められており、それに応える教育を実施していきます。

多様性の中で自分を生きる

京都府立大学 学長 築山 崇

生涯学習ということばを聞いたことがあると思います。学習・教育を、学校教育など制度化された特定の場・期間に限るのではなく、職業生活や日常の暮らしの中に場や機会を多様につくり、生涯にわたって学び続けることができる社会を実現していくことが、国際的潮流ともなっています。そして、生涯学習においては、知識・技能の修得とあわせて、「他者と共に生きる」「人間として生きる」といった理念が重視されています。

インターネットの普及もあって、今や世界中の出来事をリアルタイムで詳細に知ることができます。多様な文化や生活スタイルに接すると、自分自身を振り返ったり、自分とは異なる考え方・感じ方に接して刺激を受けたりすることがあると思います。「他者と共に生きる」「人間として生きる」という理念は、そのように多様性の中に身をおいて、自己の存在を意識的に問い続けていく、そんな生き方につながる学びを目指しています。

このたびの教養教育の共同化も、そのような考え方に重なる方向をもっています。専門性を身につけることとあわせて、多様性の中に自己の存在を見出していく学びを、共同化によって可能となった多彩な教養教育科目、大学の枠を越えた交流を通じて実現していってください。

人間性豊かな医療人になるために

京都府立医科大学 学長 吉川 敏一

教養教育は、人類が築き上げてきた知の体系を学ぶと同時に自己を確立する課程です。このような大きな目標は大学の教養教育の期間だけで達成できるものではなく、一生の全期間を通じて努力すべきものであり、今後の人生の基盤になるものです。

医学、看護学は純然たる自然科学のみではなく、人文科学、社会科学の要素を多分に含んでおり、不断の努力により幅広く深い教養を身につけるということは、患者さんの悩みや痛みがわかる人間性豊かな医療人となるためにとても大切なことです。

いよいよ平成26年度から京都三大学教養教育共同化がスタートしますが、受講科目の選択肢が増加し、学生のみなさんの多様な関心と教育要望にこれまで以上に応えられるようになります。

豊富なカリキュラムから基盤的な学力を身に付けていただくとともに、3大学の学生が同じ場所・同じ時間に講義を受け、異なる専攻分野の学生との交流を深めること、また、開かれたキャンパスにおいて多くの府民とふれあうことを通じて、他者を理解するコミュニケーション能力なども身に付け、それぞれの専門分野に向かって大きく育ってもらいたいと期待しています。

目 次

■学生のみなさんへ	
■ 3大学学長から学生のみなさんへ	
■目 次	1
■共同化科目の履修について(授業日・開講場所・休講基準等)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
■共同化科目一覧	3
■平成26年度授業科目の履修定員(前期・後期・集中開講)	4
■各科目概要	6
■共同化科目開講キャンパスガイド (府立大・工繊大・医大) ·········	18
■共同化施設「稲盛記念会館」の概要	26
■ 平成26年度共同化科日開講時間割	

Kanamanan and a same a same and a same a sa

共同化科目の履修について

共同化科目とは

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の各大学が教養科目を相互に提供し、提供されたすべての科 目を各大学が自大学の科目としている科目群です。

1 単 位

共同化科目は、各大学の正規科目であり、修得した場合の単位は、各大学の規定に則り付与されます。

2 授業日

前

下表のとおり、原則として**月曜日午後に開講**されます。月曜日が休祭日に伴う他の曜日への振替もありますので、注意してくだ さい。前後期とも最終週が試験日になります。

後

期

平成26年

4月:14日、21日、28日 5月:12日、19日、26日

6月:2日、9日、16日、23日、30日 期

7月:7日、14日、**24日 (木)**、28日

8月:4日 (試験日)

9月:29日

10月:6日、<u>15日 (水)</u>、20日、27日 11月:<u>6日 (木)</u>、10日、17日

12月: 1日、8日、15日、22日

平成27年

1月:19日、26日 2月:2日、9日(試験日)

3 授業時間

月曜日午後の3つの時限(コース)に行われます。(各授業科目の開講時限(コース)は、巻末の時間割を参照のこと。)

時 限 (コース)	3	4	5
時間	12:50~14:20	14:30 ~ 16:00	16:10~17:40

4 開講場所について

共同化科目は、原則として府立大学下鴨キャンパス敷地内共同化施設(稲盛記念会館)にて開講されます。ただし、平成26 年度前期に限っては、共同化施設(稲盛記念会館)が工事中で使用できないため、3大学で開講されますので、共同化科目一覧 (3頁) や巻末の時間割などで十分に開講場所を確認してから履修するようにしてください。

5 履修の手続き

4~5頁の「平成26年度 授業科目の履修定員」などを参照の上、各大学において必要な履修登録の手続きを行ってください。

6 試

定期試験は、上記2に掲げた「試験日」に、それぞれ授業の時間割どおり実施します。試験に関して必要なことは、前期試験 の前に別途お知らせします。

7 休講基準

共同化科目の授業について、暴風警報等が発令された場合など次のいずれかの一に該当する場合は授業を休講とします。

- ①京都市又は京都市を含む地域に気象等に関する特別警報又は暴風警報が発令された場合
- ②京都市営バス及び地下鉄が全面停止の場合
- ③JR西日本(京都駅発着の在来線)、阪急電鉄(梅田-河原町間)、京阪電鉄(淀屋橋又は中之島-出町柳間)及び近鉄(西大寺 - 京都間) の4交通機関のうち3以上の運行が停止の場合

警報の解除又は交通機関の運行再開(以下「解除等」という。)に伴う授業の取扱いは次のとおりです。

- ①午前 6時30分までに解除等となった場合…平常どおり授業を実施
- ②午前10時30分までに解除等となった場合…午後の授業を実施

休講及び授業実施のお知らせは、各大学からそれぞれの連絡方法によりお知らせします。

上記の基準は、共同化科目に適用されるものであり、各大学で開講される授業の休講基準は、大学ごとに異なる点がありますの で、各大学の基準に従ってください。

共同化科目一覧

科目群	科 目 名	担当教員	開講期	開講場所	授業 A		区分
人間と文化	哲学	工・伊藤	後	共	0	0	
(23科目)	人間学	医・棚次	後	共	0	0	
	比較宗教学	エ・若見	前	I		0	
	宗教学	医・棚次	前	医花	0	0	
	日本史	エ・昆野	後	共	0		
	東西文化交流史	エ・オーガスティン	後	共	0	0	0
	 日本文学	医・工藤	前	医花		0	
	日本文学Ⅱ	医・工藤	後	共		0	
	西洋文学論	I・山下★	前	I		0	
	日本近現代文学	エ・高木	前	Ι		0	
	文芸創作論	医・藤田	後	共		0	
	西洋文化論	エ・山下太	後	共	0		0
	ラテン語	医・松本	後	共	0	0	
	音 楽	医・山上	前	医看	0	0	
	美と芸術	工・三木順	前	I	0	0	
	アジアの歴史と文化	府・中	前	府	0		
	京都の文学 I	府・藤原	前	府		0	
	 京都の文学 I	府・藤原	後	共		0	
	京の意匠	エ・並木	後	共	0	0	0
	京都の歴史I	府・櫛木ほか	前	府		0	
	京都の歴史 II	府・小林	後	共		0	
	 リベラルアーツ・ゼミナールⅥ (現代イスラーム世界の文化と社会)	機構・田村	集中冬	共		0	0
	リベラルアーツ・ゼミナールVI (感性の実践哲学)	機構・桑子	集中冬	共		0	0
人間と社会	政治学	工・竹本	後	共	0		0
(26科目)	現代の政治	府・依田	前	府	0		0
	国際政治	府・依田	後	共	0	0	
	公共哲学	工・平井	前	I		0	0
	経済学入門	エ・人見	後	共	0		
	生活と経済	府・小沢	後	共	0		0
	現代日本と経済	府·熊澤	前	府	0		0
	人文地理学 [医・石川	前	医花	0	0	
	人文地理学 I	医・石川	後	共	0	0	
	現代京都論	府・宗田	前	府		0	
	京の産業技術史	Ⅱ・山田	前	エ		0	
	京都学事始 一近代京都と三大学一	機構・宗田ほか	後	共			0
	文化社会学	工・工藤	後	共	0		0
	社会学 I	府・玉井	前	府	0	0	0
	社会学Ⅱ	府・玉井	後	共	0	0	0
	心理学	エ・大谷	前	I	0	0	
	現代社会と心	府·石田	後	共	0		0
	現代社会とジェンダー	府・小沢 ほか	前	府		0	0
	現代教育論	工・塩屋	前	エ		0	0
	医史学	医・八木	後	共	0	0	
	人権教育	エ・杉本	前	I	0		
	リベラルアーツ・ゼミナール I (感覚で探る問題解決の方法)	機構・藤井	後	共		0	0
	リベラルアーツ・ゼミナール II (現代社会に学ぶ問う力・書く力)	機構・児玉	前	府		0	0
	リベラルアーツ・ゼミナールⅢ (社会科学の学び方)	機構・児玉	後	共		0	0
	リベラルアーツ・ゼミナールⅣ (現代社会と映画製作)	機構・長坂	集中夏	府		0	0
	リベラルアーツ・ゼミナール∇ (アメリカと中国はいま)	機構・脇田	集中冬	共		0	0

科 目 群 科 目 名 担当教員 開講 開 場 場 場 場 場 場 場 場 場 場 場 場 場 場 場 場 場		E	
(19科目) 人と自然と数学 β なって (19科目) 人と自然と数学 β なって (19科目) 人と自然と物理学			0
物理学 I 府・春山 前 所 人と自然と物理学 エ・萩原 播磨 前 コ に 受機論 I 化学概論 I エ・石川 後 ま 生物学概論 I 生物学概論 I エ・遠藤 前 コ 生物学概論 I 生物学概論 I エ・遠藤 後 ま 持人類生態学 府・熊倉 後 ま 科学史 エ・藤川 後 ま 科学と思想 エ・林 後 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま			
人と自然と物理学			0
大乙目然と物理学 播磨 使 対			0
化学概論 I			
生物学概論 I エ・遠藤 前 コ 生物学概論 I エ・遠藤 後 ま 人類生態学 府・熊倉 後 ま 科学史 エ・藤川 後 ま			
生物学概論 I エ・遠藤 後 ま 人類生態学 府・熊倉 後 ま 科学史 エ・藤川 後 ま 科学と思想 エ・林 後 ま			
人類生態学 府・熊倉 後 井 科学史 エ・藤川 後 井 科学と思想 エ・林 後 井			
科学史 エ・藤川 後 井 科学と思想 エ・林 後 井	. C		
科学と思想 エ・林 後 ま	. -		
地球の科学 工・酒井 後 井	: C		0
	: C		0
宇宙と地球の科学 府・松村 後 井			
エネルギー科学 エ・林 前 コ	- C		0
環境問題と持続可能な社会 エ・高月 前 コ	: 0		0
キャンパスヘルス概論 エ・荒井 前 コ	: C		0
食と健康の科学 府・木戸 前 所	f C		0
京都の農林業 府・宮崎 ほか 後 まか			
京都の自然と森林 府・池田 前 所	f C		
(再掲) リベラルアーツ・ゼミナール I 機構・藤井 後 す			
ゼミナール リベラルアーツ・ゼミナール I (現代社会に学ぶ問う力・書く力) 機構・児玉 前 所	f		
リベラルアーツ・ゼミナールII (社会科学の学び方) 機構・児玉 後			
集中開講 リベラルアーツ・ゼミナール IV 機構・長坂 集中 夏 所	F		
リベラルアーツ・ゼミナールV (アメリカと中国はいま) 機構・脇田 集中 き			0
リベラルアーツ・ゼミナールVI (現代イスラーム世界の文化と社会) 機構・田村 集中 条			
リベラルアーツ・ゼミナールVI 機構・桑子 集中 タ (感性の実践哲学)		C	0
(再掲) 京都の文学 I 府・藤原 前 所	f		
京都学 京都の文学Ⅱ 府・藤原 後 月			
(10科目) 京の意匠 エ・並木 後 男	: C	C	
京都の歴史 I 府・櫛木 前 所			
京都の歴史 I 府・小林 後 ま		C	
現代京都論 府・宗田 前 府	f		
京の産業技術史 エ・山田 前 コ	: [C	
京都の農林業 府・宮崎 ほか 後 まか	C		
京都の自然と森林 府・池田 前 所	FC		
京都学事始 機構・宗田 ほか 後 す			0

担当教員(それぞれの略称は、科目の提供大学・機関を示します。) 工:工芸繊維大学、府:府立大学、医:府立医科大学、機構:京都三大学教 養教育研究・推進機構

工:工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス、**府**:府立大学下鴨キャンパス、**医花**: 府立医科大学花園学舎、医看:府立医科大学看護学学舎、共:共同化施設 (稲盛記念会館)

授業目的区分(○は該当するもの、◎は特に強調するもの)

- A:人文・社会・自然諸分野の学術の基礎を幅広く修得するとともに、これら への高い関心を育てる。
- B:世界の人々の多様な生き方を感受し、豊かな人間性と高い倫理観を涵養す
- C:日々社会に生起する種々の問題において、真理や正義を探求する議論に習 熟する。

平成26年度前期 授業科目の履修定員

- ・共同化科目について、下表のとおり科目ごとに履修定員が定められ、各大学ごとの定員枠も設定されています。
- ・授業は、**各科目の提供大学で開講され、機構の提供科目については、府立大学下鴨キャンパスで開講**されますので、 注意してください。
- ・履修登録は、各所属大学の日程にしたがって、各所属大学で行います。希望者が多く各大学の定員枠を超える場合には、大学ごとに抽選を行い、履修者を決定します。抽選の結果、履修できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・平成26年度前期については、授業をそれぞれの科目提供大学で行うため、異なる大学の科目を選択した場合、大学間の移動に時間がかかるケースが想定されます。履修登録の際には、各大学までの交通手段や移動時間についても十分考慮するようにしてください。

◇前期授業科目の履修定員

科 目 名	担当教員	科目定員(人)	うち工繊大	うち府大	うち医大
比較宗教学	工・若見	100	80	13	7
宗教学	医花・棚次	115	5	3	107
日本文学 I	医花・工藤	115	5	3	107
西洋文学論	エ・山下大	100	80	13	7
日本近現代文学	工・高木	140	110	20	10
音楽	医看・山上	100	9	6	85
美と芸術	工・三木順	170	140	20	10
アジアの歴史と文化	府・中	120	18	96	6
京都の文学 I	府・藤原	120	18	96	6
京都の歴史 I	府・櫛木ほか	299	45	239	15
現代の政治	府・依田	120	18	96	6
公共哲学	工・平井	140	110	20	10
現代日本と経済	府・熊澤	204	31	163	10
人文地理学 I	医花・石川	115	5	3	107
現代京都論	府・宗田	204	31	163	10
京の産業技術史	工・山田	200	170	20	10
社会学 I	府・玉井	204	31	163	10
心理学	工・大谷	140	110	20	10
現代社会とジェンダー	府・小沢ほか	299	45	239	15
現代教育論	工・塩屋	160	130	20	10
人権教育	工・杉本	140	110	20	10
リベラルアーツ・ゼミナール II a (現代社会に学ぶ問う力・書く力)	機構・児玉	30	10	10	10
リベラルアーツ・ゼミナールⅡ b (現代社会に学ぶ問う力・書く力)	機構・児玉	30	10	10	10
人と自然と数学α	工・大倉	100	80	13	7
物理学I	府・春山	96	14	77	5
化学概論 I	工・三木定	100	80	13	7
生物学概論 I	工・遠藤	140	110	20	10
エネルギー科学	工・林	140	110	20	10
環境問題と持続可能な社会	工・高月	140	110	20	10
キャンパスヘルス概論	工・荒井	140	110	20	10
食と健康の科学	府・木戸ほか	69	14	50	5
京都の自然と森林	府・池田ほか	299	45	239	15

◇**夏期集中開講科目の履修定員**(開講日程:8/28 (木) ~29 (金)、9/4 (木) ~5 (金) 各3・4コース)

リベラルアーツ・ゼミナールIV (現代社会と映画製作)	機構・長坂	30	10	10	10

※担当教員欄の「工」「府」「医花」「医看」「機構」は科目の提供大学・機関を示し、それぞれ京都工芸繊維大学、府立 大学、府立医科大学花園学舎(医学科)、府立医科大学看護学学舎(看護学科)、京都三大学教養教育研究・推進機構で す。

平成26年度後期 授業科目の履修定員

- ・共同化科目について、下表のとおり科目ごとに履修定員が定められ、各大学ごとの定員枠も設定されています。
- ・授業は、府立大学下鴨キャンパス敷地内の共同化施設(稲盛記念会館)にて開講されます。
- ・履修登録は、各所属大学の日程にしたがって、各所属大学で行います。希望者が多く各大学の定員枠を超える場合には、大学ごとに抽選を行い、履修者を決定します。抽選の結果、履修できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・また、前後に履修する授業に支障が出ないよう、共同化施設までの交通手段や所属大学からの所要時間を十分考慮した上で、履修登録を行うようにしてください。

◇後期授業科目の履修定員

科 目 名	担当教員	科目定員(人)	うち工繊大	うち府大	うち医大
哲学	工・伊藤	150	75	50	25
人間学	医・棚次	100	30	20	50
日本史	工・昆野	100	50	33	17
東西文化交流史	エ・オーガスティン	100	50	33	17
日本文学Ⅱ	医・工藤	100	30	20	50
文芸創作論	医・藤田	100	30	20	50
西洋文化論	工・山下太	100	50	33	17
ラテン語	医・松本	100	30	20	50
京都の文学Ⅱ	府・藤原	100	38	50	12
京の意匠	工・並木	200	100	67	33
京都の歴史Ⅱ	府・小林ほか	100	38	50	12
政治学	工・竹本	100	50	33	17
国際政治	府・依田	100	38	50	12
経済学入門	工・人見	150	75	50	25
生活と経済	府・小沢	100	38	50	12
人文地理学Ⅱ	医・石川	100	30	20	50
京都学事始 ―近代京都と三大学―	機構・宗田ほか	100	34	33	33
文化社会学	工・工藤	100	50	33	17
社会学Ⅱ	府・玉井	150	56	75	19
現代社会と心	府・石田	200	75	100	25
医史学	医・八木	300	90	60	150
リベラルアーツ・ゼミナール I (感覚で探る問題解決の方法)	機構・藤井	30	10	10	10
リベラルアーツ・ゼミナールⅢ a (社会科学の学び方)	機構・児玉	30	10	10	10
リベラルアーツ・ゼミナールⅢ b (社会科学の学び方)	機構・児玉	30	10	10	10
人と自然と数学β	工・塚本	100	50	33	17
人と自然と物理学	工・萩原、播磨	100	50	33	17
化学概論Ⅱ	工・石川	100	50	33	17
生物学概論Ⅱ	工・遠藤	100	50	33	17
人類生態学	府・熊倉	150	56	75	19
科学史	工・藤川	150	75	50	25
科学と思想	工・林	100	50	33	17
地球の科学	工・酒井	200	100	67	33
宇宙と地球の科学	府・松村	100	38	50	12
京都の農林業	府・宮崎ほか	100	38	50	12

◇**冬期集中開講科目の履修定員** / 開講日程: 脇田…12/25 (木) 1~4コース、12/26 (金) 2~5コース /

田村…11/22 (土) 3~5コース、11/23 (日) 1~5コース

桑子…12/25(木) 2~5コース、12/26(金) 2~5コース

リベラルアーツ・ゼミナール V (アメリカと中国はいま)	機構・脇田	30	10	10	10
リベラルアーツ・ゼミナールVI (現代イスラーム世界の文化と社会)	機構・田村	30	10	10	10
リベラルアーツ・ゼミナール VII (感性の実践哲学)	機構・桑子	30	10	10	10

各科目概要

- ※ 大学欄は、各科目の提供大学、機関を示します。また、略称「工、府、医、機」は、「工」: 京都工芸繊維大学、「府」: 京都府立大学、「医」: 京都府立医科大学、「機」: 京都三大学教養教育研究・推進機構 を示します。
- ※ 授業目的区分 (○は該当するもの、◎は特に強調するもの)
 - A:人文・社会・自然諸分野の学術の基礎を幅広く修得するとともに、これらへの高い関心を育てる。
 - B: 世界の人々の多様な生き方を感受し、豊かな人間性と高い倫理観を涵養する。
 - C: 日々社会に生起する種々の問題において、真理や正義を探求する議論に習熟する。

■人間と文化

科目名	大学	担当教員	学期	科目の概要	学生へのメッセージ	┝	目的	
哲学	エ	伊藤 徹	後	哲学と呼ばれた知の営みがどのようなものであったのか、西洋哲学に限定するかたちでは現代に現代でするが、それが発生した古代ギリシアから、現代に到るまで、できるだけ通史的理解が可能になるよう、トピックを選んで解説する。 具体的に登場する固有名詞を挙げれば、イオニア自然哲学、ディオニュソス教とピュタゴン、アリストテレス、アウグスティヌス、トマス・アキナス、オッカムのウィリアム、デカルト、カントス、オースティンなど。	哲学は、そもそも「知を愛し求める」という人間の基本的な姿勢を意味しています。「愛し求めること」は、答えという終決をもちません。哲学の歴史を振り返ることによって、答えのない問いと、それを問い続けることの重要性を学び、現代に生きる私たち自身の在り方を振り返る機縁としてほしいと思います。	0	0	
人間学	医	棚次 正和	後	人間が自己自身を主題として探究する学問が人間学であるが、それは人文科学・社会科学系(人間学)と自然科学系(人類学)に大別することができる。本講義では、人文科学の観点に立って、とりわけ「祈り」という人間の自然本性に由来する行為・状態を切り口にして「人間とは何か」を考えてみる。21世紀に山積みされた諸問題を解決する第一歩は、人間の自己理解に関する抜本的な刷新から始まるものと思われる。	重要なのは、自己理解を吟味・検討して、既成の固定観念を捨て去り、新たな自己認識と自己実現を実現することである。学生には、積極的な姿勢と関心の持続を望みたい。	0	0	
比較宗教学	エ	若見 理江	前	宗教は自分にとって無関係なものと思っている 人でも、身近な人の死に遭遇したり、自分もまた 死ぬという事実に直面したりするとき、宗教と無 縁ではない。死は誰にでも訪れる普遍的な出来事 であるが、死の意味づけは宗教によって世界報い よって変化してきた。死をどのように捉える よって変化してきた。死をどのように捉える いうことは、どのように生きるかという問題に関 わってくる。 本講義では、「葬送儀礼」「墓」「死後世界」など を取り上げながら、世界の諸宗教および日本 を取り上げながら、世界の諸宗教および日本 を取り上げながら、世界の諸宗教および日本 を取り上げながら、世界の諸宗教および日本 を取り上げながら、世界の諸宗教および日本 を取り上げながら、世界の諸宗教および日本 を取り上げながら、世界の諸宗教および日本 を理解することを目標とする。	特定の宗教に対する自覚的な信仰をもっていなくても、私たちの暮らしは宗教的な事象に満ちています。私たちが生活するなかで自然と身につけてきた考え方を相対化して見ることは、自分の育ってきた環境を改き方をしているでなく、自分と違った生き方をしている人々を理解することにつながってくるでしょう。		0	
宗教学	医	棚次 正和	前	人間の本質規定としてのホモ・レリギオースス (宗教的人間)に注目し、その多様な在り様について理論・学問と実践・行為との両面から多角的に分析する。また、具体的にキリスト教、仏教、神道、イスラームなどを取り上げ、その概要を教義・儀礼・教祖の生涯などに分けて講述する。本講義を通して目指しているのは、人間の本質を洞察することによって他者理解をよりいっそう深く掘り下げることである。	グローバルな意味における他者理解には、宗教に対する関心と知識が必要不可欠である。学生には、柔軟な思考と積極的な出席を望みたい。	0	0	
日本史	エ	昆野 伸幸	後	日本人は他国民と比べて無宗教、あるいは宗教的に鈍感だとよく言われる。しかし、果たして本当に日本人は無宗教なのだろうか。また仮に無宗教なのだとすれば、それはいつ頃からなのか。この授業では、以上のような素朴ながらも重要な疑問にこたえることを目標に、「超越者の観念から日本人の超越者(神・仏・天)に対する観念を歴史的に検討していきたい。このようなテーマに応じるために、授業では特定の時代・対象に限定することなく、古代から近代まで通史的に扱い、神国思想や鎌倉新仏教、国学の死生観、国家神道など様々な対象を取り上げる。	みなさんは、お盆やクリスマス、初詣といった行事を、何らかの宗教的行為とは見なさず、季節のイベントとして捉え、特に何の不思議も感じないまま参加していると思います。このような現代の日本人の感覚とは異なるあり方を、過去の日本にさかのぼって学んでいきましょう。	0		
東西文化交流史	エ	オーガスティン. ジョナサン	後	漢王朝とローマ帝国の時代から冷戦後まで、東西の外交関係は、常に複雑で崩れやすいものであった。今日の国際事情に精通するには、中国と欧米の外交ばかりではなく、歴史、芸術、宗教的な基盤の差異を理解する必要がある。この授業では多様な視点から、東西軸の基盤を分析し、相対的な人間学を探求する。	二十一世紀は、商社やマスコミ関係の 仕事に就かなくとも、米中欧関係の変化 を学んでいく必要があります。世界の食 料輸出国でもあり、大量の国債を保有し ている中国と良好な関係を築いていくに は、まず東西軸の基盤を見直すことから 始めなければなりません。 この科目では、東西思想の相違点と共 通点を分析しながら、より相対的な歴史 感を身につけていただきたい。	0	0	0

科目名	大学	担当教員	学期	科目の概要	学生へのメッセージ	授業 A	目的 B	_
日本文学 I	医	工藤 早弓	前	日本の古典文学は、平安遷都から明治維新までのおよそ千年の間、京都を中心に変遷を重ねてきた。日本文学 I は、平安時代から中世前期 (鎌倉時代)にかけての貴族・武家・宗教の世界に於ける日本文学の個性と特色が確立していく時代の代表的作品、例えば、女房天文学、説話、軍記物語、随筆などを中心に講読・解説する。受講生が、王朝の文化と文学の特色を幅広く理解し、そのイメージを誰にも理解できるように伝達できるようになることを目標とする。	日本の古典文学の生きた教材が京都にはいたる所にあります。文学作品を読むこと通して古人の心を知り、それをきっかけにして自らそんな教材を日常の中に発見し楽しむことができるようになることを期待します。		0	
日本文学Ⅱ	医	工藤 早弓	後	日本の古典文学は、平安遷都から明治維新までのおよそ千年の間、京都を中心に変遷を重ねてきた。日本文学IIは、貴族社会を主とした文学に加えて、より広範な人々の参加を見た中世後期(学や芸能、例えば、能、連歌、御伽草子、仮名草子、俳諧、浮世草子などから、近代京都に通ずる様々な興味あるモチーフを探っていく。受講生が、メージを京都の年中行事や芸能の中に読み取ることができるようになることを目標とする。	室町時代以後の京都の文化は、現代の京都に直接の足跡を残しているものが数多くあります。文学作品を読み、芸能、年中行事に触れることで、それが実感できます。京都で学ぶことの醍醐味を楽しんでください。		0	
西洋文学論	I	山下 大吾	前	ホメーロスの『イーリアス』『オデュッセイア』という二大叙事詩に端を発するヨーロッパ文学。それは今日まで、その最高の模範に戦いを挑むかの様に、各時代各地域の様相を彩り、映し出めながらも、同時に普遍的値値をも併せ持つ古現代日を数多く生み出しており、21世紀の現代日本に生きる我々をも魅了してやまない。本講義では、ギリシア・ラテンの西洋古典に本で主要作品の内容、およびそれらに備わる特徴や創造的側面を概観する。合わせて漱石と明ので、我が国の文豪の残した作品や批評系を手掛かりとした紹介を試みたい。	西洋各国の文学作品を根底から支えている philology「ことばに対する愛」は、洋の東西を越え、人間の有する本源的な力と言ってよいでしょう。その力を皆さんと共有し、再確認する場になればと考えています。意欲的な学生の参加を期待しています。		0	
日本近現代文学	T	高木 彬	前	文学の魅力は、未知の世界を仮想体験できることだ。しかし実は、その体験をとおして僕たちは、既知の世界のリアリティを知る。たとえば、稲垣足穂や村上春樹の描く神戸よりも"神戸らしい"。文学のなかの都市・建築は、作中人にとある。大きないと、実感的な雰囲気や気配が刻印されているはずだ。この講義では、足穂や春樹をはじめとした近現代文学を手がかりに、都市・建築を読み解きたい。あるいは、都市・建築の観点から文学を読み解きたい。	「文学」と銘打っていますが、文学好きでなくてもかまいません。文学のどこが面白いのか、そのポイントの一つをご提供します。あるいは、ふだん建築の設計課題に追われている方にとっては、コンセプトづくりのヒントが得られるかもしれません。 文系/理系の境界線を、軽々と越えて行きましょう。		0	
文芸創作論	医	藤田 佳信	後	色々な文芸作品を創作者の目で読み、実作する。国内外・古今のエッセイ・小説・物語・戯曲・評論・詩歌などを題材にして、文章の読み方・書き方を学び、短いエッセイを創作し、小説を構想(構想のみ)する。目標は、創造的で実践的な「読み&書き」の基本を習得し、応用する方法を習得すること。参加型の討論形式で授業を進める。	創作の主体「私」とは何か、「私」は何を書きたいのか、「私」は誰に向かって、どのように書くのか、なぜ書くのか、「私」の生きる世界とは、等々について問いかけながら、創作の技法と発想について学びましょう!		0	
西洋文化論	I	山下 太郎	後	古今東西という言葉がある。我々は東洋の今を生きている。そんな我々にとって一番なじみの少ないのが西洋の古典文化ではないだろうか。当時の人間が残した言葉は、今も欧米人の心の琴線に触れる価値を持つ。では、我々はどう感じ、どう思うだろう。異文化はおのが文化を照らし出す鏡である。 西洋古典文化を代表する名言を手がかりにして、今を生きる我々にとって価値ある指針とは何かを探りたい。	予備知識は前提としない。心の目を大きく開けて、ピンとくる「何か」との出会いを楽しみにして欲しい。	0		0

科目名	大学	担当教員	学期	科目の概要	学生へのメッセージ	授第 A	目的 B	区分 C
ラテン語	医	松本 加奈子	後	ラテン語の初歩を学びます。古典語ではありますが、現在でもa.m. (午前) やp.s. (追伸)といった略語、自動車などの機械類の製品名で目にしている語も少なくないでしょうし、何よりもを初めとする西欧諸言語の習得に役立つだけで変して、英ではなく、アルファベットの羅列に見えていた既習の英単語までもが深みと広がりをもって見えてくる興味深い言語です。 はぼ全員が初めて学ぶ言語ですので、基礎から学んでいく予定ですが、文法や語彙の単なる丸暗記ではなく、長い時を経て人々が培ってきた文化の一つとして言語の成り立ちを鑑賞することで、言葉そのものに対する興味と知識を増すきっかけとなればと思います。	医学、薬学、化学元素、植物名、美術、宗教、文学etc. (ちなみにetc.もラテン語です)と、理系文系を問わず様々な学術用語の基礎であるラテン語を、様々な専攻分野の皆さんが集まって学習できる機会を楽しみにしています。語学には根気も必要ですが、festina lente (ゆっくりと急げ)をモットーに頑張りましょう。	0	0	
音楽	医	山上 友佳子	前	オペラ (歌劇) は、文学、演劇、美術などの要素を組み合わせて発展した芸術である。ストーリーがあり、セリフは全て歌になっているというで、いっそうドラマチックな表現形式をももっなり、最も華やかで、かつ、スケールの大きな総合芸術として定着している。さらにオペラは総合音楽芸術でもあり、様々な音楽的要素が精緻に組み合わされている。本講を解さほぐすことで総合芸術がいかに成り立ち、どういう効果を生むのかについて論じていてって、[表現するということ] についての理解を深めたい。 講義は映像やピアノなどを交えつつ実施する。	オペラという大きな表現は、どういった音楽技法が使われるのか、どういう技術が必要かを、時には作曲・指揮専攻レベルの課題や実演も交えたい。音楽表現全般に興味のある学生を歓迎する。	0	0	
美と芸術	エ	三木 順子	前	Artという語は、「芸術」とも「美術」とも訳される。このことからもわかるように、一般に美と芸術は深い結びつきをもつものとみなされてきた。だが今日、美と芸術は、必ずしも相互に関連するものではなくなっている。この講義では、もはや「美しい」という形容詞では説明できなくなった芸術の諸相を明るみにだすとともに、芸術と乖離した美が、今日、どのような場でどのような意義と課題をもって現象しているのかについて考察する。	私たちは、展覧会やコンサートを自由 に選び、好きなようにアートを楽しんで います。しかし、このような気まな根 体体験の次元から一歩踏み出し、より根 本的に、なぜ人間は美や芸術を必要 るのかに目を向けるとき、芸術は、たん なる趣味の対象ではなく、学問の対象と して、新しい姿で立ち現れてくることに なるでしょう。	0	0	
アジアの歴史と文化	府	中純夫	前	中国・朝鮮等東アジアを中心とするアジア世界 について、古代から近現代に至るまで、王朝・民 族の興亡、政治制度、経済史、地域間の交渉・交 流、思想・宗教・習俗等、多様な問題について、 一次資料に即して最新の知見を講述する。	中国・朝鮮を中心とする東アジア世界の歴史、制度、思想、宗教、文化遺産などに関心のある学生に広く受講を呼びかけたい。 現下の日中関係や日韓関係はその時々の政治的要因等と連動して流動的であるが、過去にまでさかのぼってより長いスパンで日本を取り巻く東アジア世界に対する理解を深めることは極めて重要であると考える。	0		
京都の文学 I	府	藤原 英城	前	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「	京都学」を参照のこと。		0	
京都の文学Ⅱ	府	藤原 英城	後	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「	京都学」を参照のこと。		0	
京の意匠	エ	並木 誠士	後	※ 科目概要と学生メッセージについては、科目群	「京都学」を参照のこと。	0	0	0
京都の歴史 I	府	櫛木 謙周 ほか	前	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「	京都学」を参照のこと。		0	
京都の歴史Ⅱ	府	小林 啓治 ほか	後	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「	科目概要と学生メッセージについては、科目群「京都学」を参照のこと。			
リベラルアーツ・ ゼミナール VI	機	田村 うらら	集中	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「 と。	リベラルアーツ・ゼミナール」を参照のこ		0	0
リベラルアーツ・ ゼミナール Ⅵ	機	桑子 敏雄	集中	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「 と。	リベラルアーツ・ゼミナール」を参照のこ		0	0

■人間と社会

科目名	大学	担当教員	学期	科目の概要	学生へのメッセージ	\vdash	目的 B	
政治学	I	竹本 知行	後	政治学の基礎知識を得ることで政治を見る「目」を養う。人間の社会が存続する限り、「政治」なるものは消えることはない。では、我々が付き合わざるを得ない「政治」とはどのようなていけばよいのだろうか。 本講義では、テキストを中心に以上の問題について考察を進めつつ、適宜、指定した参考文献なども用いて、先人が政治とその諸テーマについてのように考えてきたのかについての理解も深める。	「人間は政治的動物である」(アリストテレス)とは、しばしば引用される言葉であるが、彼の時代から2500年を経た今日でも、人間は協調と共同と競争に生きる「政治的動物」であることをやめていない。 講義では様々な問いを投げかけていきたい。それについて考えることを通じて、人類史を貫く「政治的」営みに接近してほしい。	0		0
現代の政治	府	依田 博	前	日本の政治の仕組みの基本を理解することを通して、政治学の基礎を学習する。キーワードは、民主主義、政治制度、フリーライダー、選挙、マスコミ、グローバリゼーションである。また、政治の仕組みを理解する前提として、「なぜ」という問いを発するための技法を最初に学習する。その意図は、暗記する学習から自ら理解する学習への転換を図ることにあり、とくに身の回りに起こる出来事を常識にとらわれない発想力で理解する力量を身につけることにある。	毎日、新聞を読む、あるいはインターネットでニュースをチェックする習慣を身につけてください。ニュースをチェックすることは、授業の予習・復習にもあたります。時事問題に関心を持つことなく「政治」を理解することは不可能です。	0		0
国際政治	府	依田博	後	軍事力は平和を破壊する要因であると考えられがちである。平和を破壊するのは、軍事力そのものだけではなく、別の要因、たとえば貧難の疾、宗教などの要因も作用している。授業では、維持ならびに人間の安全保障の意義・方法を引し、国際社会の構造からその限界を理解する。国際関係の仕組みを理解する前提として、「なぜ」という問いを発するための技法を最初理学する。その意図は、暗記する学習からとにあり、とくにあり、とくにありに起こる出来事を常識にとらわれない発想力で理解する力量を身につけることにある。	毎日、新聞を読む、あるいはインターネットでニュースをチェックする習慣を身につけてください。ニュースをチェックすることは、授業の予習・復習にもあたります。時事問題に関心を持つことなく「政治」を理解することは不可能です。	0	0	0
公共哲学	Н	平井 亮輔	前	公共哲学とは耳慣れない言葉かもしれませんが、広く公共的な事柄について思想的に考えようという、哲学・倫理学、法学、政治学などにまたがる分野です。この講義では、とくに「正義」という理念を主軸にして、幸福、自由、平等、シエンダー、文化、対話、熟議などをキーワードに展開される現代のさまざまな正義論とそれらの間の論争を学ぶことを通じて、「正義にかなった社会」とはどのようなものかについて考えます。	正義なんてうっとうしく感じるかもしれませんが、私たちが各々の生き方をすっできるためにも、他者といかに共生えべきか、どんな社会が望ましいのか考える必要があるでしょう。この講義が、科学のように正解はないけれど避けては通れない正義という問題について考察し、自分なりの考えを育む手がかりになればと思います。		0	0
経済学入門	I	人見 光太郎	後	経済学とは、人間や企業が経済的な誘因に対してどのように行動し、その結果として経済システムがどのように働くかを分析する学問です。この授業ではトレードオフ、インセンティブ、交換、情報、分配という現代経済学の中心概念をもとに経済学の基本的な考え方と分析の方法を学びます。	経済に関した問題では立場の違いにより極端な議論が行われる場合がありますが、できるだけ客観的な事実に目を向けるようになって下さい。	0		
生活と経済	府	小沢(修司)	後	経済(=生活の営み)の仕組みを知ることは、私たち自身が社会の主人公になる上で欠かすことができない。にもかかわらず、「経済学」には私たちの生活とは縁遠い難しい学問とのイメージがつきまとう。なぜ、「経済学」は日常の生活、暮らしから離れていったのか、「生活と経済」の切り口から経済学の特有なものの見方、考え方を平易に解説しながら、経済学の人間的再生を目指す。	大学での学習では2つのことが大切です。1つは「常識を疑う」こと。もう1つは「何故?」と問いかけること。 授業では、みなさんが「当たり前」と思っているいろいろな考え方や観念を突き崩していきたいと思っています。 考え方の「再構築」にあたっては、「生き生きとして現実感覚」で「古典」を学習することが有効です。	0		0
現代日本と 経済	府	熊澤 大輔	前	現代日本と経済では経済学的アプローチを用いて社会の仕組みを分析する。本科目の目的は、日本経済の分析を通じて資本制経済の資質を理解し、適切に経済政策を評価できるようにすることである。 講義では、社会システムとしての資本制経済の特徴から、不況・恐慌の原因や経済政策の効果、といった現代的課題まで基礎的な経済理論を用いて説明する。	経済学は我々の生活に直結する学問です。経済学の考え方を知ることで新聞記事や政府の政策がどのように我々に影響するかを理解することができます。講義では身近なトピックスを扱いますので、各々が興味関心のあるテーマを見つけてください。 なお、短期的な株価の値動きなどは講義を聞いても分かるようになりません。	0		0

科目名	大学	担当	4教員	学期	科目の概要 学生^	、のメッセージ ・	授業 A	目的 B	区 C
人文地理学 I	医	石川	義孝	前	と、および大多数の国々において、人口の大半が は、世界各地に都市に居住していることなどが、その主な理由で ての理解が、たある。一方、世界の諸都市は1980年代後半以降の す。都市は奥行グローバル化の影響を受ける一方、日本の諸都市 市をめぐる多面	どの進展により、現代である都市のあり様についいへん重要になっていまきの深い存在であり、都的な学習によって、受講界に関する視野が大きく	0	0	
人文地理学Ⅱ	医	石川	義孝	後	の問題は、年をおうごとに厳しさを増していく、 世紀を通じ、こと予想されている。現代日本の人口現象には多様 重要な課題の一で複雑な地域差が存在するが、こうした地域差の ため、人口関連的確な理解は、人口減少に起因する諸問題の緩和 的な理解は、今	が始まった日本では、21 の問題が国内における最 つであり続けます。その の多様な諸現象の地理学 世紀を生きる学生諸君の 示唆を与えてくれます。	0	0	
現代京都論	府	宗田	好史	前	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「京都学」を参照の	こと。		0	
京の産業 技術史	I	Ш⊞	由希代	前	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「京都学」を参照の	こと。		0	
京都学事始 -近代京都と三大学-	機		好史 まか	後	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「京都学」を参照の	こと。			0
文化社会学	I	工藤	保則	後	受講生が「日常生活の中に存住する「又化」 を、社会学的に理解できるようになる」ことを目 的とする。 授業内容は次のように予定している。第1回は じめに、第2回「文化社会学」の視点、第3回~ 第5回情報と文化、第6回~第8回家族と文化、 第0回~第11回 初末と文化、第12回~第14回 第12回~第14回 初末と文化、第12回~第14回 第14回 第15回~第14回 第14回 第15回~第14回 第15回 第14回 第15回 第14回 第15回 第14回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15	するもの・ことは私たち あたりまえ」に存在して えすぎて、普段はあまり いである。そういであるて少し考えてみ りまえがあたりまえでな くればいいと思う。 「は、遅刻や私語は厳禁	0		0
社会学 I	府	玉井	眞理子	前	してきたかを知ることは、社会学を専門にしようとは困難であると志す者でなくとも、社会で生きていく者全てにとって有用である。 といて有用である。 とは困難である	会学の内容を理解するこ。新聞を読むことはもち とし難解な社会学の「古 ことも重要である。 主体的な学修態度で授業 たい。	0	0	0
社会学Ⅱ	府	玉井	眞理子	後	も可能である。 「社会学 I 」ではどちらかといえば抽象的な考 ろんのこと、少察を深めるが、本講義「社会学 I 」では、「男女 典」を読破する。	会学の内容を理解するこ。新聞を読むことはもち とし難解な社会学の「古 ことも重要である。 主体的な学修態度で授業 たい。	0	0	0

科目名	大学	担当教員	学期	科目の概要	学生へのメッセージ	授業 A	目的 B	
心理学	T	大谷 芳夫	前	本講義で取り上げる主な内容は、心理学のうち実験心理学と呼ばれる分野に属するものである。実験心理学は、人間の心の働きを科学的に解明し、その法則を明らかにしようとする学問である。実験心理学が対象とする範囲は多岐にわたっており、医学、生理学が対象とする範囲は多岐にわたっており、医学、生関係している。本講義では、心の働きの基本的な側面である、視覚(ものを見る働き)・記憶(ものごとを覚える働き)・学習(環境に合わせて行動を変化させる働き)の機能を取り上げ、基礎的な現象や知識を紹介するともに、実験心理学の方法論や考え方について解説する。また、これらの心理学的機能を支える、眼や脳の生理学的機構についても紹介する。	「「こころ」とはなにか」という問いは、人間にとって根源的な問題です。実験心理学は、この疑問に科学的な方法で答えを得ようと取り組んできた学問です。皆さん一人一人が持っている「こころ」について、現在の科学はどう答えるのか・答えられないのかについて知り、自分自身を見つめ直すきっかけとなればと思っています。	0	0	
現代社会と心	府	石田 正浩	後	組織と関わらずいられないのが現代社会の特徴である。組織心理学は、そのような組織における人間の心理・行動を研究する学問領域である。組織はその構成員から組織目標を実現するための自就を期時機会を与えられることなどさまざまなりり、お互いの期待が一致することは難しい。本講義では、組織心理学・社会心理学が蓄積してきた、・リーダーシップについての知見を知るともで・リー・リー、現代の組織を生きる人間の心理学の特徴を理解し、自らのキャリア(職業人生)を考えていく心理学的な視点を学ぶ。	自分が所属するゼミやサークル、アルバイト先といった集団も組織です。そこでの自らの体験に引きつけて授業内容を体感してください。	0		0
現代社会とジェンダー	府	小沢 修司 ほか	前	男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダーをめぐる人権問題について自己の問題でもあるよして積極的に関心を持ち続けることができるらにしたい。 内容構成の柱は、大きく3つに分けられる。えで、人間は、大きく3つに分けられる。えば、人間は、大きく3つに分けられる。えば、人間は、ジェンダーをめぐる制度を等がられて、国内外の条約や法律、社会政策等語では、イの到達点や学、教育などがジェング問題を等の設定を対しては、主には講義形式にな答されて、大きないので、対しては、主には講義形式に答さって、講義としては、主には講義形式に答さっている。 援業の方法としては、主には講義形式に答さってい、講義担当者全員による討論会形式によりを表に、講義担とよ請請団との「キャッチボール」を実現したい。	ジェンダーという言葉を聞いたことはありますよね?でも、もしかして女性差別の問題であると理解していませんか?もちろん、その側面は重要な要素ですが、それだけではありません。えまざれなそころにもジェンダーが!さまなたのな発見があり、授業終了時にはあなたい「当たり前」の意識は大きく変わっていることでしょう。		0	0
現代教育論	エ	塩屋 葉子	前	我が国の近代公教育は、明治維新の「学制」発布に始まる。この時、我が国は歴史上類を見ない程の大きな教育改革を果たすのだが、同時に、学歴社会や受験競争など、解決を急務とする多くの教育問題の発端もここに求めることができる。「学制」発布以降、幾度かの大きな教育改革に迫らか今日に至るのだが、本講義では、特に現代の教育改革に焦点を当て、その実態を明らかにするとともに、今後の課題を考察し、我が国の教育の在り方を展望する。	みなさんは今、学校教育の最終段階で学んでいます。この時点において、自分がこれまで受けてきた学校教育とはどのようなものであったのかを振り返り、そして、これから受けるであろう教育について展望することは、発展的な自己形成を図っていく上で有意義なことだと思います。教育について、一緒に考察していきましょう。		0	0
医史学	医	八木 聖弥	後	日本古代〜近代における医療の歴史を系統的に 講義します。内容は医学理論や技術だけでなく、 制度や施設、思想的背景など周辺領域も含みま す。われわれ疾病に対してどのように対処して きたかをたどることによって、文化としての医の 本質を考えます。 医療の歴史を通して、日本人の身体観や死生観 が浮き彫りになるでしょう。	疾病との闘いは、人類にとって永遠の テーマです。最先端の医療も、過去の積 み重ねのうえに立ちます。医療の歴史から未来への指針を学びます。	0	0	
人権教育	工	杉本 弘幸	前	近代日本におけるマイノリティの歴史的形成と現代社会 本講義では、近代日本の歴史を様々なマイノリティとの関係から考察する。日本の近代化過程における社会的マイノリティに対する差別の実態、マイノリティの差別が運動が出など、いく。特に、差別撤廃政策のように見えつつ、いく。特に、差別撤廃政策のように見えつつ、がな抑圧を生んだ施策に注意を払って側が、そうした施策に対してどのような態度を示したのかという問題も視野に入れる。なお大学の所在する京都の事例を中心にできるだけ具体的に講義やフィールドワークをすすめていく。	現在、社会的差別は、過去の産物のように見えるかもしれない。なぜそのような差別や抑圧がなくならないのか。そのことを考えるには、マイノリティに対す自会の問題として考えることが必要である。そうした視点から歴史を読み解き、これからの社会のあり方を考える視点を養っていきたい。	0		0

科目名	大学	担当教員	学期	ジョゥ 加 亜	科目の概要 学生へのメッセージ		目的[区分
科日石	学	担当教具	期	付日の概安			В	С
リベラルアーツ・ ゼミナール I	機	藤井 陽奈子	後	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「と。	「リベラルアーツ・ゼミナール」を参照のこ		0	0
リベラルアーツ・ ゼミナール II	機	児玉 英明	前	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「 と。	「リベラルアーツ・ゼミナール」を参照のこ		0	0
リベラルアーツ・ ゼミナールⅢ	機	児玉 英明	後	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「と。	「リベラルアーツ・ゼミナール」を参照のこ		0	0
リベラルアーツ・ ゼミナール Ⅳ	機	長坂 勉	集中	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「 と。	「リベラルアーツ・ゼミナール」を参照のこ		0	0
リベラルアーツ・ ゼミナール V	機	脇田 哲志	集中	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「と。	「リベラルアーツ・ゼミナール」を参照のこ		0	0

■人間と自然

	iv,							
科目名	大学	担当教員	学期	科目の概要	 学生へのメッセージ	授業 A	目的 B	-
人と自然と 数学α	T	大倉 弘之	前	高等学校や大学初年次で学ぶ数学の題材は主として19世紀までに確立したものであり、中にはその考え方が4000年以上遡るものもあります。本授業ではいくつかの題材についてその起源にさかのぼって、元々の考え方に触れ、それらがどのような人の営みや自然との関わりの中から生まれて来たものであるかを理解することにより、現代における数学の役割や必要性等について見直す機会します。 歴史的な資料等に基づいての講義と演習から成り、演習では、歴史上の元々の考え方に触れながら、現代の数学の「言葉使い」を用いた問題の解法や実際の計算法等を学びます。	これまで、どうも数学は苦手だと思っていた人からどんどん数学を使いこなそうと思っている人や数学の教員を目指すような人まで、幅広く受講して欲しいと思っています。 数学の色々な考え方をそのルーツをたどりながらより身近に感じてもらうことで、皆さんの数学に対する見方が変わります。	0	0	0
人と自然と 数学 <i>β</i>	エ	塚本 干秋	後	幾何学は数学的なものの見方を学ぶのに良い題材です。古代ギリシア以来、ユークリッド幾何学が中心ですが、この講義ではそれとは少し違った幾何学、射影幾何学について述べます。そこから他の色々な数学が派生する様子も調べます。	数学では特別な用語と厳密な議論で新しい概念が導入されて、とっつきにくく思われる方も多いことでしょう。この講義では「目に見える」形の応用のを用いてその概念の有効性を感じ取りながら、数学的なものの見方を学びます。とっつきにくさを緩和するための毎回の演習に御参加下さい。	0		0
物理学 I	府	春山 洋一	前	この講義では物理的な見方や考え方を養さとを目的とする。物理公式や数式の扱いには重点を置いていない、自然科学の基本と紹介の記題を次に、自然科学の歴史から古典カラは、のは、初期の哲学者、ガリレそので表しての運動方ととっての運動方ととしての運動方ととしての運動方程式でまた。からでは、おととしての運動方程式である。の意味や扱いについて述べ、まとめとして物理でな保存則の意味と扱いについて述べる。	科学技術の急速な進歩に伴い、先端技術を取り込んだ様々な機器が普及し、その恩恵を受けながらも、多くの人々にとって中身はブラックボックスとなりつつある。これが科学の時代における「非合理性」の背景になっているように思える。 分からないなりにも合理的に物事を考えるというスタイルを身につけることが大切である。	0		
人と自然と 物理学	工	萩原 亮 播磨 弘	後	「物理学」の言葉から、人と離れたところにある冷たい数式ばかりを連想する人も少なくないだろう。しかし、物理学は、昔から人間が自然発を貼り強く見つめて、の知識を活用できるてきたまでの人の営みの集たして物理学の本質的である。本講義のは、こうした物理学の本質的である。本講教のは、できるだけできた意に紹介・説明したい。講義は、実際に物理学を研究手段にしている・複数の担当年によって、や理学の各分野を広く見渡すのを、物理学の各分野を広く見渡すのできる。	言葉を使って考えることの重要性を 知ってほしいと思います。数学力より文章の読み書きの力がものをいう、皆さん にとって意外な物理学の入り口をお見せ します。(萩原) 物理が我々の日々の生活のうえでとて も身近な存在であること、また生活を豊かにする楽しい分野であることを再認識 してほしいと願っています。(播磨)	0		0
化学概論 I	エ	三木 定雄	前	高度な技術、資源、エネルギー、環境など、現代の社会を考えるに不可欠なキーワードのどれもが、物質と密接に関係しています。その意味で、物質を対象とする科学である化学は、現代社会で知識人たろうとするに、必須の素養といえます。この講義では、物質について理解が、どのように変遷し、今日での理解に至ったのかを、化学における歴史上のエピソードをなぞりながら学習し、それを通じて、"物質のなりたち"と"物質の変化"という化学の大きな輪郭を勉強したいと思います。	わが国では、"きたるべき受験への対策"に縛られがちな授業のあり方が、合発的な知識欲を減退させているのは否めません。軽重の差はあっても、皆さんは高校化学にふれてきたと思います。しかし、化学の面白味をふつふつと感じた人は、少ないかも知れません。大学に合格されたいま、そのおもしろさを再発見しながら、教養としての化学に触れていただければと思います。	0		

科目名	大学	担当教員	学期	科目の概要	 学生へのメッセージ	授業 A	目的 B	
化学概論Ⅱ	エ	石川 洋一	後	暗記するのではなく、大学生として感覚的に身につけておいて欲しい(物理)化学的な考え方が幾つかある。それは、「熱力学」と「量子化学」と、それらを基にした「化学反応論」である。しかし、高校のときに学んだ化学とこれらの考え方の間には、比較的大きなギャップがあるように思われる。このギャップを少しでも埋めるために、「サビと老化」、「クーラーの効率」、「視覚と色」といった身近な化学現象を題材として、上記三つの考え方の概要を論述したい。	化合物名も化学反応式も覚えなければいけない。その複雑多岐性ゆえに化学は高いはに頼らなければいけなさそうに見える。しかし、物質を構成する粒子は『原子核"と"電子"であり、化学的性質は電子によって支配されているといっても過言ではない。この電子を理解することで、暗記に頼らず演繹的に化学を理解する筋道を示す。	0		
生物学概論 I	I	遠藤 泰久	前	生命とはどのようなものか、どのように構成されているか、どのように関わり合っているか、生命の様々な特徴(生、死、不死とはどのようなことか)、身体の仕組みと機能(骨格、筋、神経、消化、免疫などの仕組み)、環境と関わり(共生、寄生、社会性)などについて学ぶ。	生物学は名前のとおり、生物についての学問ですが、その方法は様々であり、「生物学」の特別の調べ方はありません。「生きているもの」の仕組みや働きを、ある場合は化学的に、ある場合は物理学的に、ある場合は数学的に調べる必要があります。	0		
生物学概論Ⅱ	エ	遠藤 泰久	後	生物の様々な特徴、繁殖(無性と有性、どのように子孫を残すか)、発生(身体はどのように形成され、老化していくか)、遺伝(父親からの分け前と母親からの分け前)、再生とはどのようなことか、種とは何か(進化)などについて学ぶ。	「生きているもの」は時間の関数で変化し続けています。ある瞬間の状態を明らかにしたからとしても、その本質を充分に理解したとは言えません。多様性をつくり出す仕組みや、生命のうごいていく過程をみつめ直してみましょう。	0		
人類生態学	府	熊倉 博雄	後	ヒトの地域集団間にみられる生物学的な多様性は、それぞれの地域集団が曝露されてきた自然環境に対する「適応」によって説明できる。同時にヒトの適応を考える場合には高度に発達した脳機能による「文化」という適応チャンネル、生物学的過程と同時に機能していることも重要である。これらのことを具体例によって検証しながら現在のヒトがたどってきた進化史について概観したい。	現代人の身体には、進化史上の「先人」たちの生活の痕跡が刻まれている。 アフリカローカルの類人猿としての我々 の祖先が、地球全土に拡散するなかで、 様々な身体特徴を身に着けてきた過程を 探るという作業を通じて、現代人さらに は近未来人の適応を考えてみてほしい。	0		
科学史	エ	藤川 直也	後	科学的な世界観は、現代社会の基本的な価値観の一つとなっているといっても過言ではありません。では科学はどのように発展し、どのようにもでして私たちの社会においてこうした位置を占めるでになったのでしょうか。この講義の前半では、こうした問題について、17世紀の近代科学の誕生から現代に至るまでの科学の歴史を概観すると同時に、ように変遷して、科学のかという問題の検討を通じて、科学といらみの本性についても考察します。後半では、流19世紀以降のそれら二つの個別科学を取り上げ、史を追りことで、科学の発展についてより具体的に考察します。	この講義では、科学の発展の歴史を辿り、その本性について考察することで、現代を生きる私たちの生活の根幹を支える営みである科学についてのより深い理解を獲得することを目指します。 科学史についての知識は前提しません。授業中の積極的な発言・質問を歓迎します。	0	0	
科学と思想	エ	林 哲介	後	西欧古代以来の歴史において、「科学」の誕生と 発展は、哲学・思想の歩みと深く関わっている。 哲学・思想の展開が学問や科学を生み、また科学 の発展が哲学・思想の新たな展開をもたらす。そ して言うまでもなく、面者は産業・経済・社会の 動態と密接に関わっている。 この授業では古代ギリシャ以来の西欧における 哲学・思想と学術の歴史から、代表的な事象を取 り上げながら、科学と思想の変転のダイナミクス を検討する。 また、日本の近代化や日本人の意識を比較して 分析し、我々の現代を考察する。	一方的な講義はなるべくしないことにします。グループをつくって分担し、各回のテーマごとに用意する資料を参考に、説明と質問・討論を行い、これらをまとめて理解を深めるような授業を行いたいと思います。 科学と思想の歴史的流れを概観するとますます勉強したくなるはずです。	0		0
地球の科学	エ	酒井 敏	後	地球は太陽系の中で唯一、液体の水を持つ惑星として生まれ、進化を遂げて来た。水を持つことで、地球は他の天体と大きく異なる運命をたどることになった。この講義ではまず、宇宙誕生から現在にいたるまでの歴史を振り返り、「地球誕生の物語」を解説する。後半は、「現在の地球環境」を維持する大まかなメカニズムについて解説する。日常の生活とは全く違う視点から、ピュアな気持ちで地球を考えることで、「我々の地球」に対する認識は大きく変わるはずである。	世の中、真面目だけでは通用しない。 高校までは、真面目に100点を目指せば よかった。しかし、状況が変われば、そ の点数そのものが無意味になる可能性も ある。それが自然界の掟であり、人間社 会もその中にある。地球と地球生命の歴 史は、その事実を雄弁に物語る。これを 知ることは、子供から大人への第一歩で ある。	0		0

科目名	大学	担当教員	学期	 科目の概要	 学生へのメッセージ	授業 A	目的(-
宇宙と地球の 科学	府	松村 一男	後	宇宙と地球に関する研究は20世紀に入って急速に進展してきた。授業では、最新の情報だけでなく、宇宙の誕生から現在までの変遷のプロセスを、人類がどのような事実から明らかにしてきたか、宇宙観の変遷という観点から見てみる。また、地球については、太陽うな変遷を経せした初期の段階から現在まで、どのようなデータを集めたかを知るために、人類がどんなデータを集めたれをどのような手法で処理してきたかを明らかにする。そのととによって科学的手法とはどういうものかを理解できるようにする。数学・物理学的知識に関しては基本的なものにとどめ、論理的思考に重点を置いて授業を進める。	宇宙と地球について、現在知られていることが、どのようなデータを積み重ねて、どのような定理を基に導かれてきたかという観点で見ていきます。 事象を暗記しても実生活に益する事は、ほとんどありませんが、論理の展開を理解することは、他の研究分野でも必ず必要となる論理的思考に繋がるものです。	0		
エネルギー 科学	エ	林 哲介	前	身のまわりには、力学的エネルギー、熱エネルギー、電力エネルギー、原子エネルギー、光エネルギーなど各種のエネルギーがある。これらの概念を、高校までの物理の知識を出発点に、論理の・系統的に追跡し、自然界におけるエネルギーの保存・変換や散逸の原理を理解する。また原すカ発電やエネルギー開発の課題について検討る。大学入学までに物理学を学習した受講者が、そうでない受講者に対して説明し、また後者が前者に納得いくまで質問する、という授業方法によって、協働して双方の理解を高める。	一方的な講義はなるべくしないことにします。各回のテーマごとに用意する資料を参考にして、グループごとに説明と質問・討論を行い、理解を深めるような授業を行いたいと思います。原子力発電やエネルギー開発の問題については専門家の話も聞き、討論します。物理を履修してこなかった人には良い学習の機会になります。	0		0
環境問題と持続可能な社会	I	高月 紘	前	日本ならびに地球規模での環境問題の経過と現状を述べ、求められる持続可能な社会に向けての取り組み、特に私たちのライフスタイルの見直しの必要性について議論を深める。講義の内容としては、公害問題、地球環境問題、環境倫理、生態系の保全、持続可能な社会への取り組みなどを取り上げる。また、受講生に環境問題を自分たちの問題としての当事者意識を持ってもらうよう促していきたい。	環境問題の全体像を把握した上で、環境問題の背景・原因を理解し、合わせて、自らの日常生活と環境問題のかかわりを知り、可能な限り環境問題を解決するために行動を起こしてほしい。特に、資源・エネルギー問題や生物共生社会への関心を深めてほしい。	0		0
キャンパス ヘルス概論	I	荒井 宏司	前	健康の意義を学び、肉体的、精神的な自らの健康を創造することをサポートする。 最新の医学に基づき、これから学生生活において、また社会に出てから遭遇するであろう様々な疾病に関する正しい知識を身に付ける。 おもが一つずつ持っている「人体」は、すぐ手の届くところにある現代科学のフロンティアである。自らの身体で「科学する心」を学び、巷にあふれる誤った健康情報に対する耐性を身に付けることも目的とする。	これから始まる大学生活を実り多いものにするためには、まず諸君自らが健康であらねばなりません。この講義では、最新の医学に基づき、これから皆さんが出会うであうさまざまな病気に関するトンデモ健康法に対する耐性を持つてもらおうと思っています。	0	0	0
食と健康の 科学	府	木戸 康博	前	食物が人間の生存にとって欠くことのできない基本的なものであること、健康で文化的な生活との関わりについても理解を深める。食品の調理・加工から食事として口に入るまで、摂取した食事が消化・吸収され、体内で代謝され、不安なものを体外に排出するまで、食の栄養・健康機能、安全性、心理への影響についての話題や研究の動向を解説する。	「食べることは生きること、食を学ぶことは人を知ること」、食物と食生活を取り巻く課題を総合的にとらえ、望ましい食生活とライフスタイルのあり方について、一緒に考えてみませんか?	0		0
京都の農林業	府	宮崎 猛 ほか	後	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「	京都学」を参照のこと。	0		
京都の自然と 森林	府	池田 武文 ほか	前	※科目概要と学生メッセージについては、科目群「	京都学」を参照のこと。	0		

■リベラルアーツ・ゼミナール

特色

リベラルアーツ・ゼミナールは、教育目標に掲げられた「C:日々社会に生起する種々の問題において、真理や正義を探求する議論に習熟すること」に重点を置きます。リベラルアーツ・ゼミナールでは、多様な価値観を持つ仲間と交流し、社会の諸問題について議論する力を高めることを狙いとします。授業は、1クラス30名を上限に、少人数で実施します。

科目名	大学	 担当教員	学期	 科目の概要	 学生へのメッセージ	授業	目的	区分
1100	学	担当教具	期	行日の人機会	子主: (0) グラビーブ	Α	В	С
リベラルアーツ・ ゼミナール I (感覚で探る問題 解決の方法)	機	藤井 陽奈子	後	問題を解決するとはどういうことか。その理論を解釈しながら、具体的な日常における身近な問題を取り上げて、解決の糸口を発見し方法を思考する。その際、理論に基づくだけでなく、身体の感覚を使ったより実践的な問題解決の仕方を探る。 また、ゼミナール方式をとることにより、討論を通じて他者との対話の中から解決の方法を導き出すとともにその重要性を知る。	日々の生活の中では、大小を含めた問題を解決しなければならないことがよく あるのではないでしょうか。この授業 は、問題を解決するということについて 自身で考えるだけでなく、他の分野の、他の大学に所属する学生との対話を通じて解決の糸口を見つけていく過程を、絵 や図を使って楽しみ体感するゼミナールです。		0	0
リベラルアーツ・ ゼミナール II (現代社会に学ぶ 問う力・書く力)	機	児玉 英明	前	「高校での学び」から「大学での学び」へ転換するにあたって、不安を感じている1回生も多いだろう。本ゼミナールは、そのような1回生を対象として、「論文とはどのような文章なのか」といった初歩から始める。大学での学びは、「聴く」ことや「読む」ことといった影動的な学びに、「問う」ことや「書く」ことといった能動的な学びに、「問う」ことや「書く」ことといった能動的な学びが伴って、初めて完結する。本ゼミナールでは、「考えという行為」と「書くという行為」の相関を論じた基礎的な文献を教科書にして、大学で学ぶためのリテラシー能力の向上に努める。「「問い」を意識しながら読み、「問い」を意識しながら書く」という、すべての科目に共通する初年次教養教育を、少人数のゼミナール形式で展開する。	大学での学びは、自ら「問い」を立てることです。問いを立てるとは、関心を向けている対象を、疑問文の形で書きとめることです。本講義では、自ら立てた問いについてレポートを作成し発表するという、書くという行為に重点を置いたアクティブ・ラーニングを展開しまるめ、1回生を対象に初歩からレクチャーします。		0	0
リベラルアーツ・ ゼミナールⅢ (社会科学の 学び方)	機	児玉 英明	後	日々の新聞で取り上げられるニュースの中で、何か気になっているテーマがあるだろうか。本 時まのな問題への知的好奇心を持っていて、教皇する。 社会科学の学び方とは、学生ひとり一人が「人を生むかに生きるべきか」を問うことであいると、と変どう見るか」といっとである。 本ゼミナールでは、古典として定評のある英語とでは、現代にひきつはがら、古典として定評のある、講生とのディスカッションを通り、する個人研究レイを作成することが目標である。とのディスカッションをも見るから、などのディスカッションをもしてを記載を、またのディスカッションをはいますといまれていまった。	大学に入学時、教授に次のように言われました。メートル単位で本を読め!田舎者の私は「メートル単位」という発想に、なぜか興奮を覚えました。1回をは、学問へのいざないとして、新書本をよく読みます。新書本などは、1冊、2冊買って読んでいるようでは不十分で、やはり「棚ごと買って読む」くらいの気迫がなければ、学問の本質には近づけないでしょう。		0	0
リベラルアーツ・ ゼミナール ™ (現代社会と 映画製作)	機	長坂 勉	集中	本講義は、商事会社で25年以上にわたり映画製作ビジネスに携わった一社会人による実践的社会人論、体験的映画製作論である。学生時代に感銘を受けた政治思想史家・丸山眞内容を披露しついての問題をの作品から深く学んだ内容を披露しついての問題とを、まま社会に出て真摯に考など多面が表すった。更に、するに出て真摯に考など多面が考する。そして講義後半では、映画「学校」以来、20年に11本の山田作品に出資参加した経験を基に、同氏の人生の軌跡を辿る「山田洋次論」を、次いて、映画を通じて現代社会を冷徹に凝視し続ける同監督の問題意識を「作品論」として、論述する。	喜ばれれば、人生の先輩たる一社会人が		0	0
リベラルアーツ・ ゼミナール V (アメリカと 中国はいま)	機	脇田 哲志	集中	21世紀は、「多極化」の時代となるのだろうか?あるいはアメリカと中国の「G2」の時代となるのだろうか?あるいはアメリカと中国の「G2」の時代となるのだろうか?格差、環境、民族問題など困難な問題を抱えながら経済・軍事両面で急膨張存の超中国と、覇権の衰退と国内の分裂に悩むある2の大国は、太平洋を挟んで警戒と反発を繰り返しあがら経済の相互依存をますます深め、競争と協が終み合うなかで新しい関係を模索している。両国の動向がどのように現代の国際情勢を左右していくのか、東アジアの抱える諸問題などをリンョンも交えながら検討し、理解を深めていきたい。	ます。 担当教官は、NHKの中国総局長とアメリカ総局長を経験した国際ジャーナリストです。北朝鮮が危機を迎えたとき米中はどう動くか、など、少し物騒ですが具		0	0

원모선	科目名		 学 期 科目の概要		学生へのメッカージ		授業目的区		
科日石	学	担ヨ教貝	期	科日の概要	学生へのメッセージ 		В	С	
リベラルアーツ・ ゼミナールVI (現代イスラーム世 界の文化と社会)	機	田村 うらら	集中	世界三大宗教の中でイスラーム教は、信者数を着々と伸ばし存在感を強めており、日本でも近年特に東南アジア出身者などのムスリムと直接接触する機会が増加している。しかし元々日本人にとって馴染みの薄い宗教であるうえ、報も加わり、イスラームに対する誤解は強い。本講義では、ごく基礎的なイスラームに関する知識に加え、トルコ等中東諸国を中心に現代イスラーム世界の文化と社会について学ぶ。	今後、ムスリムとのつきあいの機会は 必ず増えます。イスラームや異文化は解 に興味のある人だけでなく、専門から受講 く事情に疎い学生諸氏の積極的な受講を 歓迎します。学部時代こそ、多角的な 点に親しみ、解が一つでない諸問題の 点に親しみ、解が一つでない諸問題の 議論に習熟する好機です。講義とディス カッションを通して世界を見る力を鍛え てみませんか。		0	0	
リベラルアーツ・ ゼミナールVII (感性の実践 哲学)	機	桑子 敏雄	集中	環境からの刺激を受け止め、解釈し、さらに環境に創造的に作用する能力を「感性」と捉えることができるとすれば、京都という地域空間の構造と履歴には、この地に生きた人々の感性的経験が蓄積されていると考えることができる。本講義で、空間の構造・空間の履歴・人びとの関心、気を総合的に捉える「ふるさと見分け」の方法によって、京都の地域空間を実践的に捉え、その感性的価値を考えてみたい。	日ごろ見馴れた風景のなかに自己の存在と自己の生が営まれる環境との関係を見出すための知的なトレーニングです。 学生諸君には楽しみながら、新たな知の発見を経験していただきたいと思っています。		0	0	

■京都学

特色

「京都で学びたい」、「京都を学びたい」と思い、伝統のある三大学への進学を希望した学生も多いことでしょう。共同化 科目では、京都の地域的、歴史的、文化的特色を生かした、10科目の「京都学」を開講します。三大学にまたがる学問 分野の広さと、各大学の専門性の強みを生かした多様な京都学が提供されます。

科目名	大学	担当教員	学期	科目の概要	学生へのメッセージ	-	目的(B	区 C
京都の文学 I	府	藤原 英城	前	元禄期前後の京都の出版界の状況を検証する。 具体的には、京都における本屋仲間の成立過程を 通して、当時の出版界の抱えていた諸問題を考察 する。 本講義では、当時の出版界の内情を暴露的に描 いた都の錦の浮世草子『元禄大平記』を読み進め ながら、そこに現わされた出版界の状況や浮世草 子作者がプロデュースされていくプロセスを検証 するが、その際、京都の本屋仲間の記録である 『済帳標目』を併読しながら、具体的な本屋間の 粉議の経緯やその対処のあり方を確認する。	受講生は、文学の商品化や作者がプロデュースされていく過程を当時の文学作品や資料の読解を通して明らかにすることによって、課題を実証的に検証する基本的な態度や手続きを学ぶことができる。		0	
京都の文学Ⅱ	府	藤原 英城	後	元禄期前後の上方文学の代表的な作品を「京都の文学」として解読する。作品の選択に関しては、今日の文学史的評価高い作品に偏ることなく、当時の人々に人気の高かった、いわゆるベストセラー本を基準に読み進める。本講義では浮世草子の出発点でもある『好色一代男』と京都との関係性を中心に好色本の特徴およびベストセラーとなった背景やその秘密について考察する。その際、ベストセラーの商品性という観点から、挿絵のもつ意味やモノとしての本のあり方などについても考える。また、重宝記のいくつかを紹介しながら、好色本との関係性についても言及する。	受講生は、当時のベストセラーの読解を通し、現代との文化的価値観の相違のみならず、ジャンルの融合など現代にも共通する現象を検証し、課題に対する複合的・相対的アプローチの方法を学ぶことができる。		0	
京の意匠	I	並木 誠士	後	明治維新以降、京都の美術工芸界、伝統産業界は、さまざまなかたちで近代化に直面する。そして、美術学校の設置、博覧会の開催、図案教育などにより京都は近代化に対応しようとする。近代の京都を、美術工芸や意匠の側面からできるだけ事例、作例に即して考えてみたい。	自分たちが学びの場として選んだ京都というまちとそのさまざまな活動についての知識を身につけてほしい。京都というと、古いお寺や神社のイメージが強いが、明治時代以降の近代にも多くの魅力的な「意匠」が生み出されているので、そのような近代の京都に触れる機会になればと思う。	0	0	0
京都の歴史 I	府	櫛木 謙周 ほか	前	原始・古代から中世に至る京都の歴史を概観し、都がこの地に置かれるまでと、その後の展開過程について述べる。 取り上げる時代は現代からは遠いけれども、今日の京都が形成される基盤を考えることは重要である。京都盆地がどのような地域的特色をもったいるのか、そこがいかにして首都となったか、あるいは、そこで展開した政治や社会、文化の特徴はどのようなものか、具体的な事例をもとに論じる。 3人の教員が歴史学(文献史学)や考古学の立場からリレー式で担当する。	この授業では、中世までの京都に関する諸事象のなかから、重要と思われる事柄の正確な理解をめざしますが、個別的知識の寄せ集めに終わらせないようにします。 それぞれの時代の京都の歴史的特徴をどのように捉えればよいか、一人一人が考えてほしいと思います。		0	

科目名	大学	担当教員	学期	科目の概要	学生へのメッセージ	授業 A	目的I B	-
京都の歴史Ⅱ	府	小林 啓治 ほか	後	近世以降、現代に至るまでの京都について、歴史的・地理的観点から概観する。江戸幕府の成立以降、京都は政治的中心ではなくなるが、国家権力や権威から切り離された都市になったわけではない。明治以降は、天皇制国家の権威の源泉として再建されていく。それぞれの時代が都市京都をどのように特徴づけたのか、逆に言うと、都市京都はどのような役割をになったのかについて、具体的な事例をもとに論じる。近代以降は世界史的な観点から京都を位置づけることも重視する。	近世から現代にいたる京都の歴史をまんべんなく扱うのではなく、対象となる時代の京都を規定している要素にポイントを絞って解説していきます。時の権力・権威と都市京都がどのように結びついていたのか、といった観点から考察を深めてほしいと思います。		0	
現代京都論	府	宗田 好史	前	京都のまちづくりを知り、考えることを目的に、①町家を通じて進む市民、事業者の活動、②自然と歴史的景観を保全する政策の今日的意味とその問題点、③伝統文化の問題として伝統産業と生活文化、伝統芸能の問題、④新たな展開を見せる京都観光について、その観光客の動向、観光産業の状況などをとりあげる。京都で学ぶ学生さんが、身近なまちかどで見聞きしたことの背景を知り、まちづくりに広い関心をもつことを目指す。	今まさに京都の街で起こっている最新 の情報をもとに、まちづくりの現状から 京都の現代社会を探る講義です。 様々な調査や統計をもとに、街と人々 の動きを探りつつ考える授業です。		0	
京の産業 技術史	I	山田 由希代	前	京都にとって大きな転換期となった「近代」に注目し、染織、陶芸、絵画などの「美術・工芸」がどのような変容をとげて現代にいたっているのかについて、産業との関わりをふまえて講義する。	日本の文化や生活に深くかかわってきた美術・工芸は、伝統産業として長い歴史ある京都の独特な文化を支えてきたといえます。いまも私たちの暮らしの様々な場面に見ることのできる伝統業をつり続けた人々の取り組みをふりかえることは、現代の産業振興に役立つ要素の発見にもつながると思われます。		0	
京都の農林業	府	宮崎 猛 ほか	後	わが国の農林業の概要とその中における京都の 農林業の特徴とについて、リレー方式で概説す る。 一千年以上もの間、都であった歴史的古都ゆえ に、伝統的に蓄積されてきた技術と文化に基づく 農林業と、新しい技術と生産方式の下で再編成さ れる現代の農林業との2つの側面を明らかにして、 長期的視点でわが国と京都の農林業を見つめ直す ための教養を身につける講義である。	7人の教員が担当する授業であり、全体像を理解するためには、復習が必要である。 成績評価は、各教員による小テストと出席状況に基づき行われる。	0		
京都の自然と 森林	府	池田 武文 ほか	前	京都府の自然の構成要素である地形や気候などについて解説し、現存植生との関係や森林の特徴、京都の代表的な植生、植生の変遷や人との関わりによる歴史的な変遷などについて解説する。 さらに、病虫害や鳥獣害、災害などによる森林の衰退などについて解説し、京都府の自然がかかえている問題を考える。	京都の究極の自然は森林です。森林の ダイナミックな営みを知り、京都の本当 の自然を理解しましょう。	0		
京都学事始 -近代京都と 三大学-	機	宗田 好史 ほか	後	京都と深い関わりをもつ三つの歴史ある大学で学ぶ学生さんのために、特に京都の近代化に三つの大学が果たした役割を知り、三大学と共に近代教育制度が確立し、京都の産業が成長・発展した過程を学ぶことから、大学と地域社会の関わりを考える。 三大学は、また京都の社会経済だけでなく、医療、教育、福祉に深く関わり京都の企業や施設、行政機関が発展させた。それぞれの大学とを京都の近代史を学び、身近な中から近代の京都を再発京都府立総合資料館から選りすぐりの講師陣が順番に講義する。	活躍する数多くの先輩諸氏を知り、その功績を知るとともに、皆さんも引き続き、地域社会に貢献しようという意欲を感じてもらえる讃義にしたいと思いま			0

共同化科目開講場所についての注意

平成26年度前期

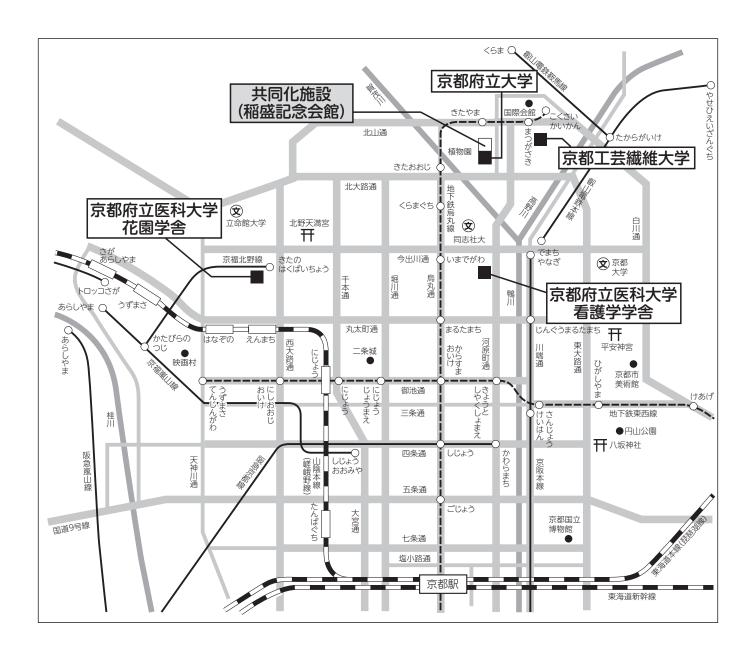
共同化施設(稲盛記念会館)が工事中のため、次の4ヶ所で開講されます。なお、機構提供科目は、府立大学下鴨キャンパス内で開講されますので、注意してください。

- ・京都府立大学 下鴨キャンパス
- ・京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス
- ·京都府立医科大学 花園学舎
- ·京都府立医科大学 看護学学舎

平成26年度後期

原則として、京都府立大学下鴨キャンパス敷地内の共同化施設(稲盛記念会館)で開講されます。

受講者は、次ページ以降に掲載されている地図や交通手段などを参考にして、時間に余裕をもって移動できるよう心掛けて下さい。

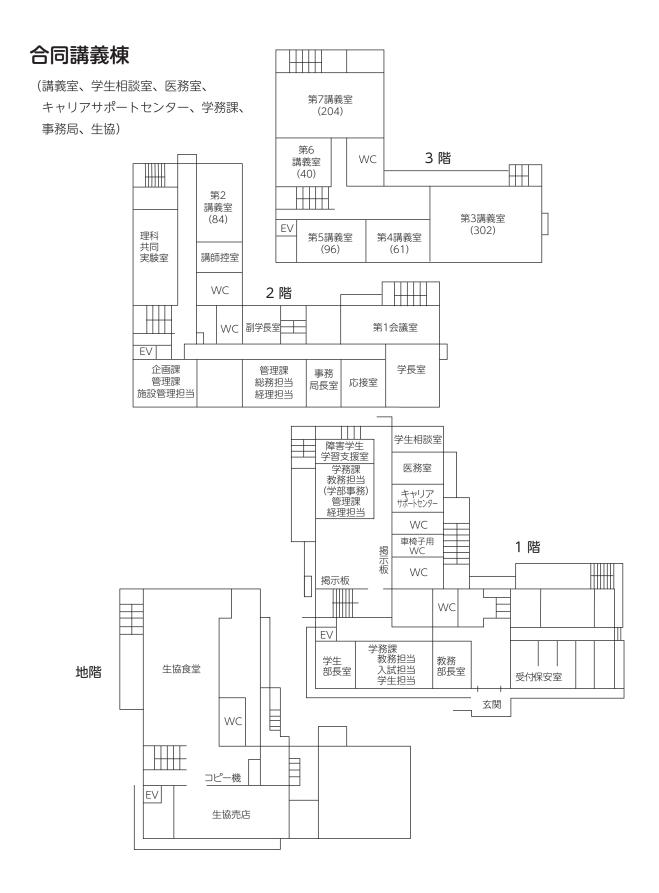


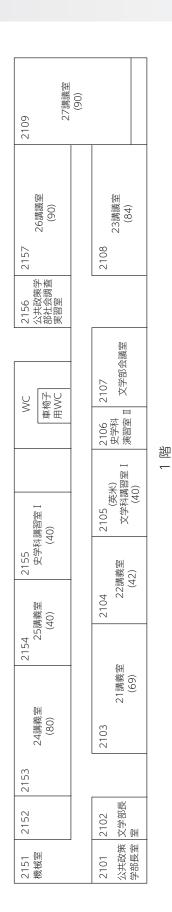
京都府立大学

京都府立大学下鴨キャンパス

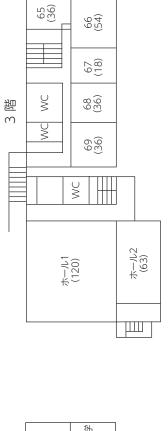


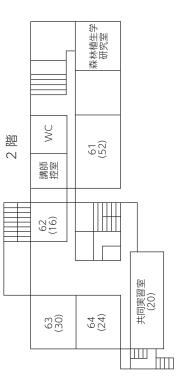
京都府立大学





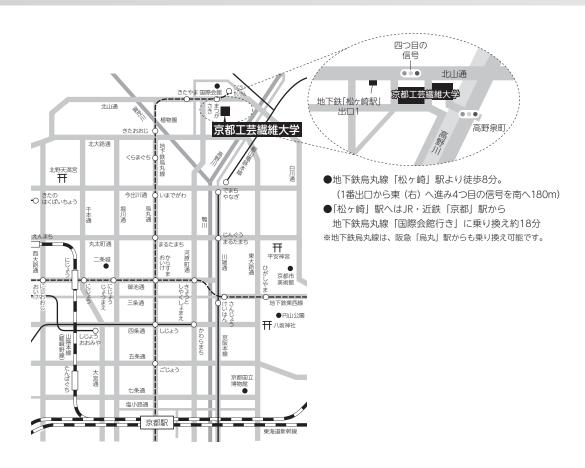
2号館 (文学部·公共政策学部·講義室)





6号館(講義室、生命環境科学研究科)

京都工芸繊維大学



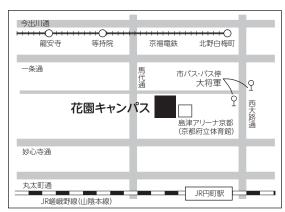
松ヶ崎キャンパス 所 在 地 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 番地 電話番号 (075)724-7222



0322 0612 **EP21** 東部講義室糖 (EP) 0611 JF 6号館 2F 囯 0331日 0312 0311 3号篇 0822 東 7 号館 7 F **0821 2**F E121 E121 Ann 青報科学センター E **518** K202 K203 CIS 5号篇 2F 0812 0811 ЩЩ K302 K303 K201-**2F** WL23 WL21 NAME OF /一トルダム館 WL24 WL22 K101 K301 Ħ 西実験棟 2F 0121 0122 1031 1041 NP21 **2**F 西北門 WP22 1142 WP21 1141 0111 华務課 -1211 **2**F **2**F NP 11 西部講義室棟 (WP) WP12 1132 北部講義室棟(ND) 1 F 1131 WP11 7号館・2号館 7F NP12 12号館 1F 1.7号館 3F

講義安配置図

京都府立医科大学 花園学舎



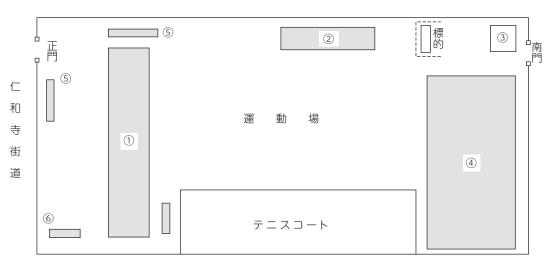
花園キャンパス

京都市北区大将軍西鷹司町13





京都府立体育館



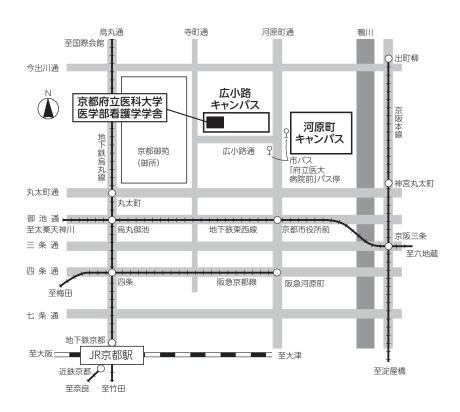
①本 貧

- 1階 事務室、会議室、医務室、第6.7講義室、当直室
- 2階 化学研究室、化学実習室、図書館·自習室
- 3階 物理学研究室、物理学実習室、人文系研究室 第一外国語・第二外国語・数学・人文・社会科学の各研究室
- 4階 生物学研究室、生物学実習室、第4講義室、中央研究室花園分室 コンピューター室
- 5階 第1.2.3.5講義室
- 地階食堂、売店、機械·電気室

②クラブボックス

- ③弓道場
- ④体育館、剣道場、柔道場
- ⑤自転車置場
- ⑥バイク置場

京都府立医科大学 看護学学舎



河原町キャンパス

京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465

|広小路キャンパス(看護学学舎)

京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410(上京区広小路通河原町西入る)



	看護学学舎
4F	第8講義室 第5実習室 第6実習室 家庭看護実習室
3F	大学院生研究室 情報科学自習室 第1演習室 第2演習室 第3演習室 第4演習室 第6演習室
2F	第5講義室 第6講義室 研究員研究室 キャリア支援コーナー 第1実習室 第2実習室 第3実習室
1F	第1講義室 第2講義室 第3講義室 第4講義室 大講義室 会議室 看護実践ヤリア開発センター
BF	情報科学実習室 調理実習室 学生ホール 売店

共同化施設「稲盛記念会館」の概要

共同化施設

府立大学が立地し、京都府立総合資料館や京都府立植物園などが隣接する北山地域を「北山文化環境ゾーン」として京都府が整備を進めることとなり、その一環として教養教育共同化施設についても整備を進めることが平成22年度に明らかにされました。そして、平成24年度に着工され、現在、建設工事が進められており、平成26年度の後期授業からこの施設で授業を開始する予定です。

施設の概要

北山地域にとけこむ施設、京都議定書の街にふさわしい施設、持続可能な骨格を備えた施設を設計コンセプトに、開かれ、環境に配慮した、永く使えるシステムを持つ施設として整備が進められています。建物の概要は次のとおりです。

1 建設場所

京都市左京区下鴨半木町

2 構造・規模

R C造 地上 3 階 延床面積 約9,100㎡

3 環境配慮

太陽光パネル設置、エコボイド(吹き抜け空間を各階の自然換気、自然採光に利用)、雨水、井水を雑用水に利用し、市水使用料を大幅に削減

4 建物ゾーニング

1階 府民利用・学生交流フロア

講義室6室(200人:1室、150人:2室、100人:3室)、レストラン、事務室

2階 学生講義室フロア

講義室10室(120人:3室、100人:3室、60人:4室)、視聴覚室

3階 研究等フロア

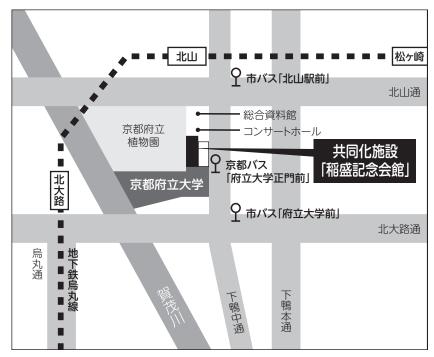
医大研究室、化学実習室、生物実習室、物理実習室、実験準備室、研究ゼミ室、 コンピューター室、更衣室

施設の名称は、稲盛記念会館

この施設の整備については、京セラ株式会社名誉会長 稲盛和夫様から、京セラ株式会社の創業の地でもある京都府に対して平成25年11月に20億円の御寄付がありました。



▲共同化施設「稲盛記念会館」完成イメージ図



- ●JR京都駅、阪急烏丸駅から 地下鉄烏丸線「北山」下車 1番出口から南へ徒歩7分
- ●京阪出町柳駅から

市バス 1 「府立大学前」下車 徒歩5分

●JR二条駅から

市バス 206 「府立大学前」下車 徒歩5分

※施設周辺が工事中のため、施設利用の際には、府立大学 正門からお入りください。

平成26年度 京都三大学教養教育共同化科目受講案内

発行:京都三大学教養教育研究・推進機構 URL http://kyoto3univ.jp/

印刷・製本:株式会社北斗プリント社 〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2

※この受講案内は、文部科学省大学間連携共同教育推進事業の補助金を活用 して作成しています。

平成26年度 共同化科目開講時間割

前 期 ※前期の授業は、提供大学のキャンパス内で開催されます。

なお、機構提供科目については、府立大学下鴨キャンパス内で開講されますので、注意してください。

提	供大学等	機構	京都工芸繊維大学	京都府立大学	京都府立	医科大学
□-7	開講場所	京都府立大学 下鴨キャンパス	松ヶ崎キャンパス	下鴨キャンパス	花園学舎	看護学学舎
	3 12:50~ 14:20	リベラルアーツ・ ゼミナールⅡa (現代社会に学ぶ問う カ・書く力) (児玉英明)	日本近現代文学(高木 彬) 現代教育論(塩屋葉子) 生物学概論 I (遠藤泰久) 環境問題と持続可能な社会 (高月 紘)	京都の歴史 I (櫛木謙周ほか) 現代京都論 (宗田好史) 現代の政治 (依田 博) 物理学 I (春山洋一)	宗教学(棚次正和)	
月	4		公共哲学 (平井亮輔) 人と自然と数学 α (大倉弘之)	京都の文学 I (藤原英城) 社会学 I (玉井眞理子)	日本文学 I (工藤早弓)	** W (U.J.*/
	14:30~ 16:00		化学概論 I (三木定雄) キャンパスヘルス概論 (荒井宏司)	現代社会とジェンダー (小沢修司ほか) 食と健康の科学 (木戸康博ほか)	人文地理学 I(石川義孝)	音 楽(山上友佳子)
曜		リベラルアーツ・	京の産業技術史 (山田由希代) 美と芸術 (三木順子)	京都の自然と森林 (池田武文ほか)		
	5 16:10~ 17:40	ゲミナール II b (現代社会に学ぶ問う 力・書く力) (児玉英明)	比較宗教学(若見理江) 西洋文学論(山下大吾) 心理学(大谷芳夫)	現代日本と経済 (熊澤大輔)		
	17.40		人権教育 (杉本弘幸) エネルギー科学 (林 哲介)	アジアの歴史と文化 (中 純夫)		

後期

提供大学等		機構	京都工芸繊維大学	京都府立大学	京都府立医科大学
	開講場所			鴨キャンパス敷地内の	
コース	λ				
			京の意匠 (並木誠士)		
	3	リベラルアーツ・	東西文化交流史 (オーガスティン.ジョナサン)	京都の歴史 II (小林啓治ほか)	
	3	ザミナール Ⅲ a	文化社会学 (工藤保則)		
	12:50 ~ 14:20	(社会科学の学び方) (児玉英明)	化学概論Ⅱ(石川洋一)	国際政治(依田 博)	医史学(八木聖弥)
			生物学概論 Ⅱ(遠藤泰久)		
			科学と思想(林 哲介)		
月			哲 学 (伊藤 徹)		
曜	1	リベラルアーツ・ ゼミナール I (感覚で探る問題解決の 方法) (藤井陽奈子)	経済学入門 (人見光太郎)	京都の文学 I (藤原英城)	日本文学 I (工藤早弓)
	4		人と自然と数学β (塚本千秋)	社会学Ⅱ(玉井眞理子)	人文地理学 🛚 (石川義孝)
	14:30 ~ 16:00			現代社会と心 (石田正浩)	ラテン語(松本加奈子)
			人と自然と物理学 (萩原 亮、播磨 弘)	宇宙と地球の科学 (松村一男)	文芸創作論 (藤田佳信)
	5 16:10 ~ 17:40	リベラルアーツ・ ゼミナールⅢb (社会科学の学び方) (児玉英明)	西洋文化論(山下太郎)	京都の農林業 (宮崎 猛ほか) 生活と経済 (小沢修司) 人	人間学(棚次正和)
			日本史(昆野伸幸)		
			政治学(竹本知行)		
		京都学事始 一近代京都と三大学一	科学史(藤川直也)		
		(宗田好史ほか)	地球の科学 (酒井 敏)	人類生態学(熊倉博雄)	

集中開講

夏期	リベラルアール・ゼミナールⅣ(現代社会と映画製作)(長坂勉) (8月28~29日、9月4~5日 各3・4コース)		
	リベラルアーツ・ゼミナールⅤ(アメリカと中国はいま)(脇田哲志) (12月25日 1~4コース、26日 2~5コース)		
冬 期	リベラルアーツ・ゼミナールVI(現代イスラーム世界の文化と社会)(田村うらら) (11月22日 3~5コース、23日 1~5コース)		
	リベラルアーツ・ゼミナールVII(感性の実践哲学)(桑子敏雄) (12月25~26日 両日とも2~5コース)		